

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

A. コースワークの充実・強化

①人材養成目的に沿った科目構成の整理

●東京医科歯科大学生命情報科学教育部バイオ情報学専攻 「国際産学リンケージプログラム」の事例

(具体的に何を実施したのか)

国内外における様々なキャリアパスを描ける大学院生の養成を目的とし、基礎研究から開発さらには社会との関連性を体系的に学べる講義として「オミックス創薬特論」を開講した。また、海外とのコミュニケーション能力向上を図るために、すでに開講していた「英語ディベート演習」「英語によるプレゼンテーション演習」の2科目を、英語によるコミュニケーション全体を学べるように内容を再編した。さらに、国内外へのインターンシップを奨励するために、「国際産学リンケージ演習 I・II」「国際産学リンケージ特論」を開講し、積極的に国内外の研究所や企業を見る機会を創出し、体系的なコースワークを構築した。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

- ・社会における研究の位置づけがわかるように、基礎研究から開発、さらには社会とのかかわりまで学べるように体系的な講義・演習を実施した。ご協力頂いた企業の研究者や実務家の講師には、事前に目的を伝え講義内容など十分に話し合い、講師任せの内容にならないように配慮した。
- ・「英語ディベート演習」では英語による基本的な交渉術からディベートまで、また「英語によるプレゼンテーション演習」では、単にパワーポイントを英語で作るのではなく、メールによる自己表現、履歴書による自己表現、日本人が失敗しがちなプレゼンテーションのポイントなど、両科目とも実践で役立つように配慮した。
- ・「国際産学リンケージ演習」で海外で研修を行った学生には、シンポジウムを開催した際に、その研修内容を発表する場を設け、他の学生へのインセンティブとなるように配慮した。また、海外研修内容を広く多くの人々に知ってもらうために、学術誌へ積極的に発表できるように配慮した。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

本プログラムに関連する講義・演習科目の担当を本プログラムの専任教員に集中させ、体系的に一貫した教育が実施できるように配慮した。その結果、研究に関する講義に留まらず社会とのかかわりを積極的に考える機会の創出、また演習を通して研究や開発を行う実際の現場を見る機会を創出できた。このような座学

と実学の連携効果は、学生にとっては体系的な知識の習得に留まらず、将来のキャリア構築を真摯に検討する場となったと考えられる。それは大学院生への各種のアンケート結果に出ており、本プログラムの関連講義・演習のアンケート結果と同様に、非常に満足度が高いという結果であった。最終的には、学位授与数の増加、海外へのキャリアパスを想定した学生数の増加、就職数の増加につながっているものと思われる。

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

D. 産業界、地域社会等多様な社会部門と連携した人材養成機能の強化

①国内外におけるインターンシップ・フィールドワークの充実

●東京医科歯科大学生命情報科学教育部バイオ情報学専攻

「国際産学リンケージプログラム」の事例

(具体的に何を実施したのか)

国内外におけるインターンシップを実施する上で重要となるのは、幅広い国内のヒューマンネットワークである。本プログラムでは、国内外で広い人脈を有する教員を専任教員として雇用し、国内外のネットワーク強化、また構築されたネットワークを活用した学生への積極的なキャリアサポートが実施できるように体制を整えた。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

- ・国内インターンシップにおいては、R&D インターンシップというコンセプトで実施した。

このコンセプトは、研究に加えて開発の現場も学ぶことで、研究や開発の現場を見るに止まらず、研究から開発への流れや全体像を学べるように構築した。

- ・大学院生を国内外の研究組織や企業へインターンシップとして派遣するために、事前に教員が欧米、アジアの大学・企業を訪問し、大学院生の派遣（あるいは受入）のための準備を整えた。さらには学内の他の教員とも連携し、学生が希望する訪問先の開拓に積極的をサポートした。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

R&D インターンシップ というコンセプトは、多くの参加学生から好評を得ており、大学ではあまり知る機会がない開発という職種を学ぶ機会場の創出につながるなど、大学院生のキャリアパスの場を広げるよい機会となった。これは、大学院生の職業に対する明確な意識付けにつながったと思われ、結果として就職率の向上に寄与したと思われる。

- ・海外とのネットワークは、本プログラム終了後も関係が継続しており、海外からの留学生の獲得、本学のプログラムが欧州の著名な大学の単位としても位置付けられているなど、国内外のネットワーク関係強化、教育プログラムの開発・共有化、さらなる海外ネットワーク拡大へとつながっている。